

<中部版スクラム教育事業> 令和8年度 第2回生徒指導担当者研修会

- 【日 時】 令和8年8月6日（木）
- 【対象者】 生徒指導担当者、教育相談担当者等（各校2名参加）
- 【ねらい】 2学期のスタートに向けた不登校の未然防止や初期対応の校内の仕組みのアップデート、校内支援体制の再確認等について、各校の強みや課題をもとに考える。
- 【内 容】 ○この時期に不登校対応をテーマにして開催する意図の確認
○自校の不登校対応について自校担当者で現状分析
○分析した現状や他校から得た情報等をもとに、自校の教職員へ還元・提案する内容や方法等を具体化



【参加者の振り返りより】

- ◆改めて自校の取組を振り返ることができた。初期対応や有効な手立てを打つためには、学校内外からのさまざまな視点が必要であることを再認識することができた。これは不登校問題についてだけではなく、学校で起こりうる諸問題について言えることだと思う。組織で対応することを意識したい。
- ◆勤務校の実態を振り返って、良い点からのアプローチ、改善点から見たアプローチを言語化できて、整理ができた。他校の取組を見て、参考にできる部分がたくさんあった。そしてこの研修会で、学校体制の見直しが必要だとも感じた。
- ◆自校の不登校対応について視点をもって話し合えたことで、強みや弱みなど明確に見えたものがあつた。また、校内の担当者と話し合う時間がたくさん設定してあつたことで、普段時間に追われて話し切れないことも話し合えたことがよかった。
- ◆自校の強み・弱みを振り返ることで、強みを活かした課題へのアプローチ方法を考えることができた。既存の会議を活用したり、職員室での何気ない会話を全体に広げたりすることで、無理なく授業改善に繋げることができるのではないかと考えた。生徒指導担当と教育相談担当が一緒に考えることで良いアイデアが浮かびやすかったので、学校では研究推進担当も巻き込んで取組を行えたらと思う。